

第59回日本公衆衛生学会総会（群馬）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長	小寺 弘之（群馬県知事）
学 会 長	鈴木 庄亮（群馬大学医学部教授）
副 学 会 長	家崎 智（群馬県医師会長）
副 学 会 長	岡 英夫（群馬県保健福祉部長）
副 学 会 長	林 弘二（群馬県環境生活部長）
顧 問	萩原弥惣治（前橋市長）
顧 問	赤岩 英夫（群馬大学長）
顧 問	鈴木 守（群馬大学医学部長）
顧 問	杉森みど里（群馬県立医療短期大学長）

2 開催日及び開催地

- (1) 開催日
平成12年10月18日（水）から20日（金）
- (2) 開催地
群馬県前橋市

3 学会総会会場

・ グリーンドーム前橋

- | | |
|---------------|------------------------------|
| (1) 開 会 式 | メインイベントエリア |
| (2) 総 会 | メインイベントエリア |
| (3) 学 会 長 講 演 | メインイベントエリア |
| (4) 特 別 講 演 | メインイベントエリア（2題） |
| (5) 教 育 講 演 | サブイベントエリア（6題） |
| (6) 奨励賞受賞者講演 | サブイベントエリア（4題） |
| (7) シンポジウム | メインイベントエリア（4題）、サブイベントエリア（1題） |
| (8) 示 説 発 表 | 2、3、4階コンコース（1,269題） |
| (9) 公 開 講 演 | メインイベントエリア |

4 自由集会会場

- (1) グリーンドーム前橋（8集会）
- (2) 群馬会館（4集会）
- (3) 県庁舎（23集会）

5 参加者数

3,724名

(参加人数順：その他を除く)

職 種 別	人 数	構 成 比	都 道 府 県 別	人 数	構 成 比
1. 保健婦	593	29.8	1. 東京都	297	15.2
2. 医師(行政系)	305	15.3	2. 大阪府	161	8.2
3. 医師(教育・研究系)	235	11.8	3. 群馬県	111	5.7
4. 看護婦(士)・准看護婦(士)	95	4.8	4. 千葉県	80	4.1
5. 管理栄養士・栄養士	81	4.1	5. 埼玉県	75	3.8
6. 健康教育系	81	4.1	6. 愛知県	74	3.8
7. 歯科医師	62	3.1	7. 神奈川県	70	3.6
8. 薬剤師	46	2.3	8. 茨城県	59	3.0
9. 医師(臨床系)	46	2.3	9. 青森県	55	2.8
10. 事務系	40	2.0	10. 北海道	46	2.3
11. 臨床・衛生検査技師	39	2.0	11. 奈良県	45	2.3
12. 生物・物理・化学・工学系	34	1.7	12. 栃木県	43	2.2
13. 獣医師	14	0.7	13. 福岡県	43	2.2
14. 歯科衛生士・歯科技工士	9	0.5	14. 京都府	40	2.0
15. その他	312	15.7	15. 秋田県	39	2.0
			16. その他	721	36.8
計	1,992	100.0	計	1,959	100.0
不明	1,732	—	不明	1,765	—
合 計	3,724	—	合 計	3,724	—

6 学会総会内容

◆ 平成12年10月18日(水)

◎ メインイベントエリア

(1) 開会式 9:15~9:30

・ あいさつ

学 会 長 鈴木 庄亮 (群馬大学医学部教授)
 名誉学会長 小寺 弘之 (群馬県知事)
 副学会長 家崎 智 (群馬県医師会長)
 顧 問 萩原弥惣治 (前橋市長)
 来 賓 篠崎 英夫 (厚生省保健医療局長)

・ 紹介

副学会長 岡 英夫 (群馬県保健福祉部長)
 副学会長 林 弘二 (群馬県環境生活部長)
 顧 問 赤岩 英夫 (群馬大学長)
 顧 問 鈴木 守 (群馬大学医学部長)
 顧 問 杉森みど里 (群馬県立医療短期大学長)

(2) 学会長講演 9:30~10:30

「21世紀の社会・環境・健康：エコヘルスの提唱」

座長 實成 文彦 (香川医科大学教授)

(3) 平成12年度総会議事 10:30~11:00

ア 議事

イ 日本公衆衛生学会奨励賞授与式

- ・ 津久井 智 (群馬県高崎保健福祉事務所技師長)
- ・ 三徳 和子 (岐阜県岐阜地域保健所本巢・山県センター生活健康課長)
- ・ 長田 斉 (東京都杉並区保健衛生部副参事)
- ・ 麻原 きよみ (信州大学医療技術短期大学部教授)

(4) 特別講演 I 11:00~12:00

「日本の公衆衛生：2000年に至る軌跡」

小泉 明 (日本医師会副会長)

座長 星野 洪郎 (群馬大学医学部教授)

(5) メインシンポジウム 13:30~16:30

「健康への挑戦：21世紀へのメッセージ」

座長 多田 羅 浩三 (大阪大学大学院教授)

有川 勲 (財団法人健康づくり事業財団常務理事)

- ・ 基調報告 健康日本21計画
篠崎 英夫 (厚生省保健医療局長)
- ・ 演題及びシンポジスト
 - ア プライマリーケアにおける挑戦
桜井 秀也 (日本医師会常任理事)
 - イ 地域からの挑戦
笹谷 志げ子 (長野県駒ヶ根市役所)
 - ウ 保健所における挑戦
阿彦 忠之 (山形県村山保健所長)
 - エ 地方における挑戦
大月 邦夫 (群馬県衛生環境研究所長)
 - オ 公衆衛生の挑戦
大野 良之 (名古屋大学大学院教授)

◎ サブイベントエリア

- ・ 歓迎行事 12:15~13:15
群馬交響楽団による演奏

◎ 2、3、4階コンコース

示説発表 12:10~13:00

分 科 会 名		発表演題数	参加者数
第1分科会	疫学	41	220
第3分科会	保健所・衛生行政	67	264
第4分科会	地域保健・地域医療	205	466
第5分科会	難病・医療福祉	61	108
第15分科会	食品衛生・薬事衛生	20	66
第16分科会	産業保健	29	118
計		423	1,242

◆ 平成12年10月19日 (木)

◎ メインイベントエリア

- (1) 特別講演 II 9:00~11:00

「老人の健康を左右するもの:アラメダ研究での行動・心理・社会・経済的要因から」
 ジョージ A. カプラン (ミシガン大学公衆衛生大学院疫学講座/社会学研究所主
 任教授)

座長/通訳 森本 兼囊 (大阪大学大学院教授)

- (2) 歓迎行事 12:15~12:45
 八木節 (前橋八木節協会)

- (3) シンポジウム I 13:00~15:00
 「公衆衛生を支える人々の養成」
 座長 小林 秀資 (国立公衆衛生院長)
 稲葉 裕 (順天堂大学医学部教授)

・ 演題及びシンポジスト

- ア 日本公衆衛生学会の人材養成担当理事として
 二塚 信 (熊本大学医学部教授)
 イ 感染症免疫学専門家養成コース (FETP) の設定
 高橋 央 (国立感染症研究所感染症情報センターFETP担当)
 ウ 行政機関において期待される保健婦の資質
 野村 陽子 (厚生省保健医療局地域保健・健康増進栄養課保健指導室長)

- (4) シンポジウム II 15:30~17:30
 「介護保険を迎えて」
 座長 村嶋 幸代 (東京大学大学院助教授)
 安村 誠司 (山形大学医学部助教授)

・ 演題及びシンポジスト

- ア 介護保険制度と市町村保健行政の役割
 堀井 とよみ (滋賀県水口町保健センター所長)
 イ 介護保険を迎えて -在宅老介護-
 赤羽 芳雄 (老々介護者、桐生第一高校非常勤講師)
 ウ 介護保険を迎えて -生活を支援する-
 是枝 祥子 (大妻女子大学助教授)
 エ 介護支援専門員としての活動と役割
 新井 ふみ子 (埼玉県吉田町健康福祉課介護保険係長)

◎ サブイベントエリア

- (1) 教育講演 13:00~15:00

- ア 中高年者の口腔保健
 末高 武彦 (日本歯科大学新潟歯学部教授)
 座長 宮武 光吉 (鶴見大学歯学部客員教授)
- イ 群馬県の環境行政
 林 弘二 (群馬県環境生活部長)
 座長 兜 真徳 (国立環境研究所地域環境上席研究官)
- ウ 99法改正とこれからの地域精神保健福祉
 吉川 武彦 (国立精神神経センター精神保健研究所長)
 座長 三国 雅彦 (群馬大学医学部教授)
- エ 生活習慣病予防のための栄養教育・指導のあり方
 田中 平三 (東京医科歯科大学難治疾患研究所教授)
 座長 鈴木 久乃 (女子栄養大学教授)
- オ Evidence Based Medicineによる公衆衛生活動
 矢野 栄二 (帝京大学医学部教授)
 座長 甲斐 一郎 (東京大学大学院教授)
- カ ホルモン補充で女性の老化を防げるか?
 メアリー N. ハーン (カルフォルニア大学医学部デイベスコ校加齢と健康研究所長、
 疫学予防医学講座助教授)
 座長/通訳 水沼 英樹 (群馬大学医学部助教授)

(2) 奨励賞受賞者講演 15:30~17:30

ア 各種指標を用いた糖尿病スクリーニング法の有用性と糖尿病危険因子が及ぼす影響に関する研究

津久井 智 (群馬県高崎保健福祉事務所技師長)

座長 小倉 敬一 (千葉県千葉市保健所長)

イ 調査研究をベースにした保健婦活動

三徳 和子 (岐阜県岐阜地域保健所本巢・山県センター生活健康課長)

座長 近藤 健文 (慶応大学医学部教授)

ウ 成人の口腔保健指標としての現在歯のパーセントイル値について

長田 斉 (東京都杉並区保健衛生部副参事)

座長 茂木 健司 (群馬大学医学部教授)

エ 保健婦活動の意義の明確化と活性化に関する実証的研究

麻原 きよみ (信州大学医療技術短期大学教授)

座長 金川 克子 (石川県立看護大学長)

◎ 2、3、4階コンコース

示説発表 11:10~12:00

分 科 会 名	発表演題数	参加者数	
第2分科会	健康教育・ヘルスプロモーション	182	502
第6分科会	成人保健Ⅰ(循環器疾患)	41	141
第10分科会	老人保健	120	288
第12分科会	歯科保健	28	72
第14分科会	公衆栄養	28	91
第18分科会	国際保健	25	68
計		424	1,162

◆ 平成12年10月20日(金)

◎ メインイベントエリア

(1) シンポジウムⅢ 9:00~11:00

「健やか親子21」

座長 平山 宗宏 (日本こども家庭総合研究所長)

田島 貞子 (群馬県前橋保健福祉事務所長)

- ・ 指定発言 健やか親子21の人口学的背景

竹本 泰一郎 (長崎大学医学部教授)

- ・ 演題及びシンポジスト

ア 「健やか親子21」が目指すもの

藤崎 清道 (厚生省児童家庭局母子保健課長)

イ 地域における「健やか親子21」の推進

藤内 修二 (大分県佐伯保健所長)

ウ 子と親のこころを守る母子保健活動へ

小林 美智子 (大阪府立母子保健総合医療センター)

エ 自治体(地域)での母子保健活動の重要性

熊谷 勝子 (飯田女子短期大学)

(2) 公開講演 13:00~16:00

「すけっち、しまっちの健康なまちづくり講座」

～みんなでハッピーファクターを探しましょう～

- ・ 基調講演

島内 憲夫 (順天堂大学スポーツ健康科学部助教授)

助友 裕子(順天堂大学スポーツ健康科学部助手)

座長 萩原 俊一(上毛新聞社報道本部)

・ シンポジウム

－事例発表－

ア 静岡県引佐町 藤社 芳美(健康環境課係長)

イ 千葉県白井町 笠井 喜久雄(企画課主査補)

ウ 群馬県草津町 土屋 由美子(保健福祉課課長補佐)

助言者 島内 憲夫、助友 裕子

座長 萩原 俊一

◎ サブイベントエリア

(1) シンポジウムⅣ 9:00～11:00

「地域における感染症対策」

座長 竹田 美文(国立感染症研究所長)

疋田 博之(群馬県医師会理事)

・ 演題及びシンポジスト

ア 地域における感染症対策

高橋 央(国立感染症研究所感染症情報センターFETP担当)

イ 日本医師会における感染症対策と地域医療連携

雪下 國雄(日本医師会常任理事)

ウ 地方自治体における感染症危機管理体制の構築と問題点

佐藤 泰一(群馬県保健福祉部保健予防課長)

－事例報告－

ア) 感染研FETP活動より

高橋 央(国立感染症研究所感染症情報センターFETP担当)

イ) 飲料水を原因とした腸管出血性大腸菌O157集団発生事例

藤本 和子(長野県飯田保健所検査課)

ウ) ウイルスによる飛沫集団感染事例より

飯塚 登美世(群馬県中之条保健福祉事務所技師長)

◎ 2、3、4階コンコース

示説発表 11:30～12:20

分 科 会 名	発表演題数	参加者数
第7分科会 成人保健Ⅱ(悪性新生物)	18	71
第8分科会 成人保健Ⅲ(その他の生活習慣病)	59	148
第9分科会 母子保健・学校保健	146	309
第11分科会 精神保健	54	155
第13分科会 感染症	100	242
第17分科会 環境保健	45	102
計	422	1,027

8 優秀ポスター賞

本学会総会では、分科会の一般発表を全て示説発表といたしました。

そこで、優れた発表内容のポスターに対し、優秀ポスター賞規程及び同選考細則を定め、優秀ポスター賞を贈ることいたしました。

この候補者については、各分科会の座長に上記規程及び選考細則に基づき、投票していただきました。

学会終了後、選考委員会を開催し協議した結果、各分科会別に下記のとおり合計39名が選考されました。この方々に表彰状と記念品をお贈りいたしました。

(1) 第1分科会 (疫学)

- 17 山口県における動脈瘤性クモ膜下出血患者の月別発生状況 (1986~1998年)
國次 一郎 (山口大学医学部公衆衛生学講座)
- 20 肝がん死亡の地理的分布の年次推移
三浦 宜彦 (埼玉県立大学)
- 29 脳卒中障害状態の効用値の算出
能登 真一 (筑波記念病院、筑波大学医科学研究科)

(2) 第2分科会 (健康教育・ヘルスプロモーション)

- 35 検診の場における禁煙指導の有効性の評価 (第2報) - efficacy studyの最終結果
中村 正和 (大阪がん予防検診センター)
- 125 ビデオの活用による地方衛生研究所の「疫学」に関する研修機能の強化・拡大事業
島村 利枝 群馬県衛生環境研究所
- 135 シンナー乱用防止教育用資材 (CD-ROM) の開発について
篠原 裕治 (福岡県遠賀保健所)
- 167 都市近郊高コレステロール血症者を対象とした通信指導型健康教育の試み (第2報)
- コレステロール低下プログラムの費用効果分析 -
大和田 佳子 (大阪府立成人病センター)
- 178 総合検診におけるOMRを用いた生活習慣診断システムの開発とその信頼性・妥当性の評価 (第1報)
福田 洋 (順天堂大・医・総合診療科)
- 179 PRECEDE-PROCEED-Modelに基づく健康づくり事業展開の試みとその成果
- 熊本県竜北町の取り組み -
岡 順子 熊本県八代保健所

(3) 第3分科会 (保健所・衛生行政)

- 28 多・重複受診者の受療行動、服薬状況などに関する訪問調査
谷原 真一 (自治医大・公衛)
- 67 母子保健活動からみた都道府県型保健所の市町村支援の実態と関連要因
福島 富士子 (国立公衆衛生院・看護)

(4) 第4分科会 (地域保健・地域医療)

- 12 健康長寿に関するコホート研究
一木 真澄 (福岡県夜須町役場)
- 18 地域住民の生命予後関連要因の検討
太田 晶子 (群馬大・医・公衛)
- 60 SMR等による地域診断支援システムについて
小澤 由紀子 (栃木県保健環境センター)
- 112 要介護認定からみた対策の効果 - 秋田県井川町における分析 -
佐藤 真一 (大阪府立成人病センター)

(5) 第5分科会 (難病・医療福祉)

該当なし

(6) 第6分科会 (成人保健I (循環器疾患))

- 28 循環器検診への頸部エコー検査導入について - 地域住民を対象とした検討成績 -
岡田 睦美 (大阪府立成人病センター)
- 35 血中ホモシステイン、血中ビタミンと頸部脈硬化所見との関連
森山 ゆり (高知県衛生研究所)

(7) 第7分科会 (成人保健II (悪性新生物))

・ 該当なし

(8) 第8分科会 (成人保健III (その他の生活習慣病))

- 20 糖尿病と癌死亡との関連
藤野 善久 (産業医大・産業生態科学研究所・臨床疫学)
- 25 日本人女性の骨密度変化に影響する要因 - JPOS Cohort Study -
伊木 雅之 (近畿大・医)

(9) 第9分科会 (母子保健・学校保健)

- 3 発達段階からみた小児事故防止プログラムの評価
石井 博子 (国立公衆衛生院・母子保健学部)

- 140 「生命の大切さ助産婦による出前講座」の実践
関口 雅美 (群馬県助産婦会)
- (10) 第10分科会 (老人保健)
- 5 豊島区のコロモジラミ対策 - 高齢者施設における衛生と福祉の連携 -
関 なおみ (東京都豊島区中央保健福祉センター)
- 58 地域高齢者の転倒と平衡機能評価の関連性
木村 勉 (富山市保健所)
- 105 高齢者を対象とした転倒予防教室の試み
金 憲経 (東京都老人総合研究所疫学部門)
- 107 B型機能訓練事業の実施とその効果について
須田 俊枝 (群馬県小野上村)
- 114 Vision Analysis
「高齢者が安心して生活できる」ための要因についての質的分析
八森 淳 (国保百石病院)
- (11) 第11分科会 (精神保健)
該当なし
- (12) 第12分科会 (歯科保健)
- 26 職域歯科保健の参加状況と歯科医療費との関係 - 第2報 -
市橋 透 (財団法人ライオン歯科衛生研究所)
- (13) 第13分科会 (感染症)
- 5 専門学校生のピアス装着と細菌汚染の実態
田中 聡子 (名古屋市立栄養専門学校)
- 8 感染症発生動向調査：流行警報・注意報発令モデルの検討
長谷川 伸作 (北海道立衛生研究所)
- 44 結核定期外検診の質の評価と改善の取り組み
山田 敬子 (山形県村山保健所)
- 49 ツベルクリン反応検査及びBCG接種精度管理事業の成果について
野中 千代 (佐賀県杵藤保健所鹿島支所)
- 73 小田原市3歳6ヵ月健診児における尿を材料とした風疹疫学調査
大屋 日登美 (神奈川県立衛生短大)
- (14) 第14分科会 (公衆栄養)
- 8 都市在宅高齢者における食物摂取の8年間の変化
湯川 晴美 ((財)東京都老人総合研究所)
- 10 在宅高齢者の生活形態とアルブミン値の変動について
山田 隆司 (宮崎県都城保健所)
- 15 中学生の食生活・生活状況と健康との関連の検討 - 9年間の取り組み -
池田 順子 (京都文教短期大学)
- (15) 第15分科会 (食品衛生・食事衛生)
- 3 群馬県で分離されたO157の分子疫学的検討 (第2報)
黒澤 肇 (群馬県衛生環境研究所)
- (16) 第16分科会 (産業保健)
該当なし
- (17) 第17分科会 (環境保健)
- 10 パッシブサンプラーによるVOC個人暴露濃度調査
山口 貴史 (群馬県衛生環境研究所)
- 42 インドネシア国ジャカルタ特別区居住者の環境問題への気づき、知識、認知及び態度
- 高学歴群と一般群の比較 -
シギト スダルマディ (群馬大・医・公衆衛生)
- (18) 第18分科会 (国際保健)
- 23 インドネシア・スラバヤの都市部低所得地域における母親の就労と子どもの栄養状態
に関する研究
當山 紀子 (東京大・医学系・院・国際地域保健学)

8 自由集会

	集 会 名	月 日	参加人員	会 場
1	HIVと健康教育:若者への新たなアプローチの実践と提案	10月18日	53	グリーンドーム前橋 102会議室
2	第2回「公衆衛生に国境はない」	10月18日	34	グリーンドーム前橋 103会議室
3	全国組織活動研究会	10月18日	7	グリーンドーム前橋 104会議室
4	「精神保健福祉法第34条の移送制度を現場はいかに実施するのか」 －保健所の受診援助の在り方を考える－	10月18日	100	グリーンドーム前橋 サブイベントエリア
5	第7回高齢者の健康づくり研究会	10月18日	53	県庁 281会議室
6	地域高齢者の閉じこもりの自由集会	10月18日	50	県庁 291会議室
7	ハッピーファクターを探す会	10月18日	70	県庁 ビジターセンター
8	情報技術を活かした地域保健福祉介護に関するシンポジウム	10月18日	40	県庁 21,22会議室
9	公衆衛生看護活動の展開	10月18日	30	県庁 23会議室
10	児童虐待とは	10月18日	80	県庁 294会議室
11	保健所における地域保健を推進する会 －生き生きとした保健所づくり－	10月18日	49	県庁 292会議室
12	住まいと健康フォーラム	10月18日	31	県庁 111会議室
13	健康についての参加的理解	10月18日	34	県庁 101会議室
14	アルコール問題研究会	10月18日	8	県庁 131会議室
15	花粉症と花粉情報に関する自由集会	10月18日	30	県庁 141会議室
16	THIの活用とその効果に関する検討会	10月18日	16	県庁 142会議室
17	結核集団発生の対策に関する集会	10月18日	130	群馬会館 ホール
18	全国衛生行政研究会総会	10月18日	19	群馬会館 広間
19	要介護者等への結核検診及びエックス線装置の届出と管理の標準化について	10月19日	50	グリーンドーム前橋 102会議室
20	多胎児を生み育てる家族への保健サービスを考える集会	10月19日	50	グリーンドーム前橋 103会議室

	集 会 名	月 日	参加人員	会 場
21	性的指向と健康問題	10月19日	20	グリーンドーム前橋 104会議室
22	Health Claim(健康強調表示)とは	10月19日	120	グリーンドーム前橋 サブイベントエリア
23	第19回地域歯科保健フォーラム 「地域歯科保健事業の現状と将来展望」	10月19日	86	県庁 281会議室
24	臨床検査に関する自由集会	10月19日	90	県庁 291会議室
25	第4回公衆衛生の視点から【性暴力】 を考える	10月19日	27	県庁 ビジターセンター
26	循環器病予防自由集会	10月19日	30	県庁 21,22会議室
27	足から健康を考える自由集会	10月19日	20	県庁 23会議室
28	喫煙対策	10月19日	50	県庁 294会議室
29	ヘルス・プロモーションを実践する会	10月19日	30	県庁 292会議室
30	保健医療福祉制度の国際比較に関する 自由集会	10月19日	20	県庁 111会議室
31	第16回運動と健康自由集会	10月19日	12	県庁 101会議室
32	ジョン・スノウの会(第2回)	10月19日	30	県庁 141会議室
33	精神保健における地域での対応	10月19日	40	県庁 142会議室
34	全国いきいき公衆衛生の会	10月19日	180	群馬会館 ホール
35	地方分権時代の健康政策 －本当に住民の声を反映できるか－	10月19日	60	群馬会館 広間
計			1,749	

第59回日本公衆衛生学会総会収支決算書

【収入の部】

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
1 負担金	10,370,000	
日本公衆衛生学会 前年開催地(大分県) 都道府県政令指定都市 群馬県 前橋市	2,000,000 200,000 5,170,000 2,000,000 1,000,000	
2 抄録集売上金	22,031,500	
事前送付、当日受付 事前申込(当日受取)	17,736,000 4,295,500	6,000円×2,956冊 5,500円× 781冊
3 演題申込金	3,891,000	3,000円×1,297題
4 諸収入	8,237,281	
助成金、寄附金 広告掲載料 ブース展示料 預金利子等	5,180,000 1,530,000 1,500,000 27,281	50件 23件 9件
計	44,529,781	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
1 準備費	13,723,074	
賃金 共済費 旅費 委託費 会議等事務費 役務費	685,820 92,981 25,300 8,305,593 2,389,980 2,223,400	臨職雇上 6月～10月 臨職雇上 6月～10月 事前打ち合わせ等 演題集・抄録集作成、送付等 会議諸費、事務用品等 電話、郵便、振込手数料等
2 総会費	27,776,666	
報償費 旅費 需用費 委託費 使用料及び賃借料	2,876,500 1,469,736 6,323,339 11,098,028 6,009,063	シンボ等演者、座長等 シンボ等演者、座長等 看板、運営物品、係員昼食等 設営、警備、シャトルバス 会場使用料等
3 事後処理費	2,830,041	
賃金 共済費 旅費 報告書作成等 返還金	258,800 34,952 667,750 1,711,959 156,580	臨職雇上 11月～12月 臨職雇上 11月～12月 理事会、事務引継等 報告書作成、送付 抄録集二重払等返還金
4 負担金	200,000	次期学会総会負担金
5 予備費		
計	44,529,781	